

「アジアNo.1 航空宇宙産業クラスター形成特区」について

～「国際戦略総合特区」に対する愛知・岐阜地域からの提案～

総合特区の目指す目標

アジア最大・最強の航空宇宙産業クラスターを形成する

- 日本唯一、材料を含む研究開発から設計・開発、飛行試験、製造・販売、保守管理までの一貫体制を構築し、アジアの新興国等の追随を許さない、欧米先進地域と肩を並べる一大集積地を形成
- アメリカ（米・シアトル）、ヨーロッパ（仏・トゥールーズ）に匹敵する第3極の形成

【数値目標】（一例）

中部地域（愛知・岐阜を中心とした5県）の航空宇宙産業の生産高
 約7,000億円（平成22年）→約9,000億円（平成27年）
 ※年率5%以上の伸びを確保し、フランスのトゥールーズ地域（1兆円）に肩を並べる。

なぜ、「航空宇宙産業」なのか ～日本の成長に航空宇宙産業の振興が必要な理由～

- 航空機産業は中長期的に確実に拡大する成長産業〔今後20年で新たに3万1千機、約300兆円の需要〕
- 航空宇宙産業は日本の強みを発揮でき、国際競争の最前線で伍していける分野
 〔ボーイング787で日本（愛知・岐阜）の生産分担率は35%、炭素繊維複合材は東レが独占供給
 MRJ（三菱リージョナルジェット）開発により、全機インテグレーション技術を獲得〕
- 航空宇宙産業は、裾野が広く、技術波及効果が大きい先端技術集約型産業
 〔自動車の100倍の部品、3倍の技術波及効果〕

など

どの地域が担うのか ～愛知・岐阜地域の優位性～

●我が国最大の航空宇宙産業の集積地

- ・日本の航空機・部品生産額の約5割、航空機体部品では7割以上を生産（中部5県）
- ・日本の主要機体メーカー（三菱重工業、川崎重工業、富士重工業）の生産拠点が集中立地。ボーイング787の日本分担率35%を当地域が担う。
- ・国産初の小型ジェット旅客機MRJ（三菱リージョナルジェット）は当地域で開発・製造・組立（三菱航空機、三菱重工業）
- ・航空機の機体軽量化のキーテクノロジーであるCFRP（炭素繊維複合材）をボーイング社に独占的に供給する東レをはじめ、素材、部品、工作機械等のサポーターインダストリーも多数集積

●関連する研究開発・人材育成機能も集積

- ・（独）宇宙航空研究開発機構の「JAXA名古屋空港飛行研究拠点」、三菱重工業の「MRJ技術試験場」
- ・東レの名古屋事業場内「アドバンスド・コンポジットセンター」
- ・名古屋大学の「航空宇宙工学専攻」や「複合材工学研究センター」 など

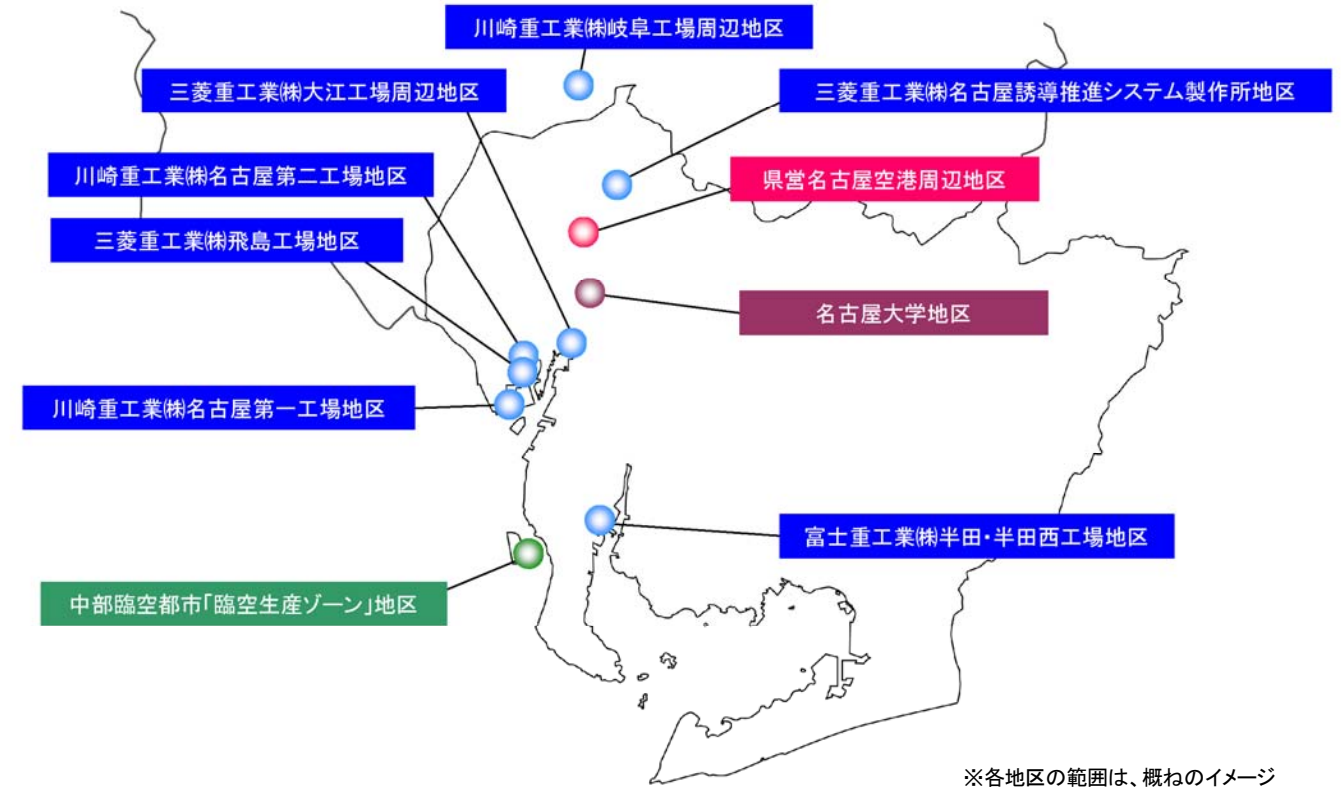
●大規模な国際イベントが開催予定

- ・「2012年国際航空宇宙展（ジャパン エアロスペース2012）」、「第29回宇宙技術および科学の国際シンポジウム」（2013年）

●産・学・官の連携体制がすでに構築

- ・（社）中部航空宇宙技術センター（C-ASTEC）（平成5年9月設立：中経連、愛知県、岐阜県、名古屋市、地域企業等）
- ・「航空宇宙産業フォーラム」（平成20年4月設立：中部経済連合会、C-ASTEC、三菱重工業名古屋航空宇宙システム製作所、川崎重工業航空宇宙カンパニー、航空機部品加工中堅・中小企業、名古屋大学、中日本航空専門学校、愛知県、岐阜県、三重県、名古屋市、中部経済産業局）

国際戦略総合特区の区域



MRJ完成予想図(三菱航空機提供)

●日本の戦略的な航空宇宙産業振興の最適地は、「愛知・岐阜」
 ●総合特区により、日本の新たな成長をこの地域が担う「必然性」“大”



ボーイング787

日本の成長新時代へテイクオフ!!

総合特区における主な政策課題と戦略的取組

| 政策課題 | 主な戦略的取組 | 事業の概要と効果 |
|---|--|---|
| ●国際競争力の強化 ・国際共同開発における役割を拡大しうる条件整備 ・サプライヤーである中小企業の一貫生産体制の構築 | ●輸入航空機部品等の関税フリーゾーン化 ●航空宇宙部品の一貫受注システムの構築、工場アパートの整備 | ●国際共同開発に不可欠となっている輸入航空機部品について、その加工・製造品を輸出する場合の関税等を賦課せず、手続面でできる限りの簡素化を図ったフリーゾーン化を実現し、コスト競争力をアップ ●三菱重工業(株)大江工場周辺地区、川崎重工業(株)岐阜工場周辺地区において、航空機の部品加工に係る多工程をワンストップで行い、一貫受注・生産が可能な中小企業のネットワーク化、集団化を推進し、生産性と品質をアップ |
| ●生産能力の抜本的拡充 ・ボーイング787の生産フル稼働(月産10機以上) | ●企業が新規立地・設備投資しやすい環境整備 | ●緑地規制の緩和により、既存敷地を最大限活用するとともに、航空宇宙産業を優先した国有地の売却、長期低利貸付等により、生産能力をアップ |
| ●研究開発機能の強化 ・航空機の軽量化に不可欠なCFRP(炭素繊維複合材)など材料分野での先進的な研究開発体制の整備など | ●CFRP(炭素繊維複合材)に係る一大研究開発拠点の形成 | ●名古屋大学に我が国初となる複合材製造技術の実証・評価を行うナショナルコンポジットセンターを早期整備し、CFRPの製造・加工において他の追随を許さない技術力をアップ |

地域の責任ある関与 ～地域の「覚悟」、「本気度」～

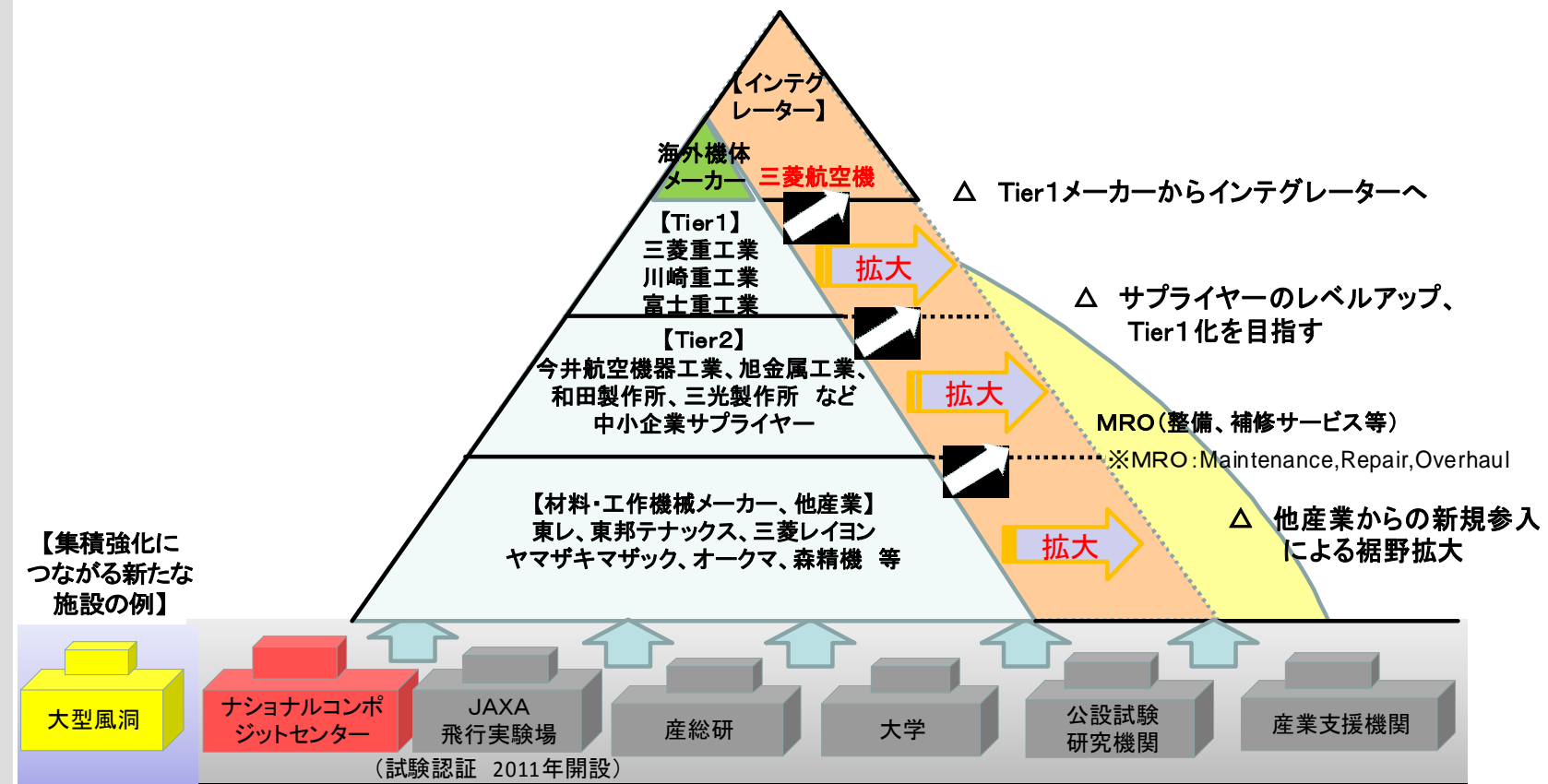
地域独自の新しい支援措置

- 法人県民税 10%相当額を基金に積み立て、国際戦略総合特区に係る企業立地・研究開発投資・実証実験等に対する補助制度を創設(愛知県)
- 国際戦略総合特区関連事業に対する財政的支援制度の検討・創設(名古屋市)
- 岐阜県企業立地促進事業補助金の拡充(岐阜県)
- 法人市民税の引き下げの実施に向けた取組(名古屋市)
- 国際戦略総合特区緑地面積率等条例の検討・制定(名古屋市、半田市、常滑市、弥富市、各務原市)
- 中部国際空港島内での超大型貨物輸送に係る許可手続の合理化・期間の短縮化(愛知県、愛知県企業庁、常滑市、中部国際空港(株)等) 等

これまでの地域の支援措置(既存制度)

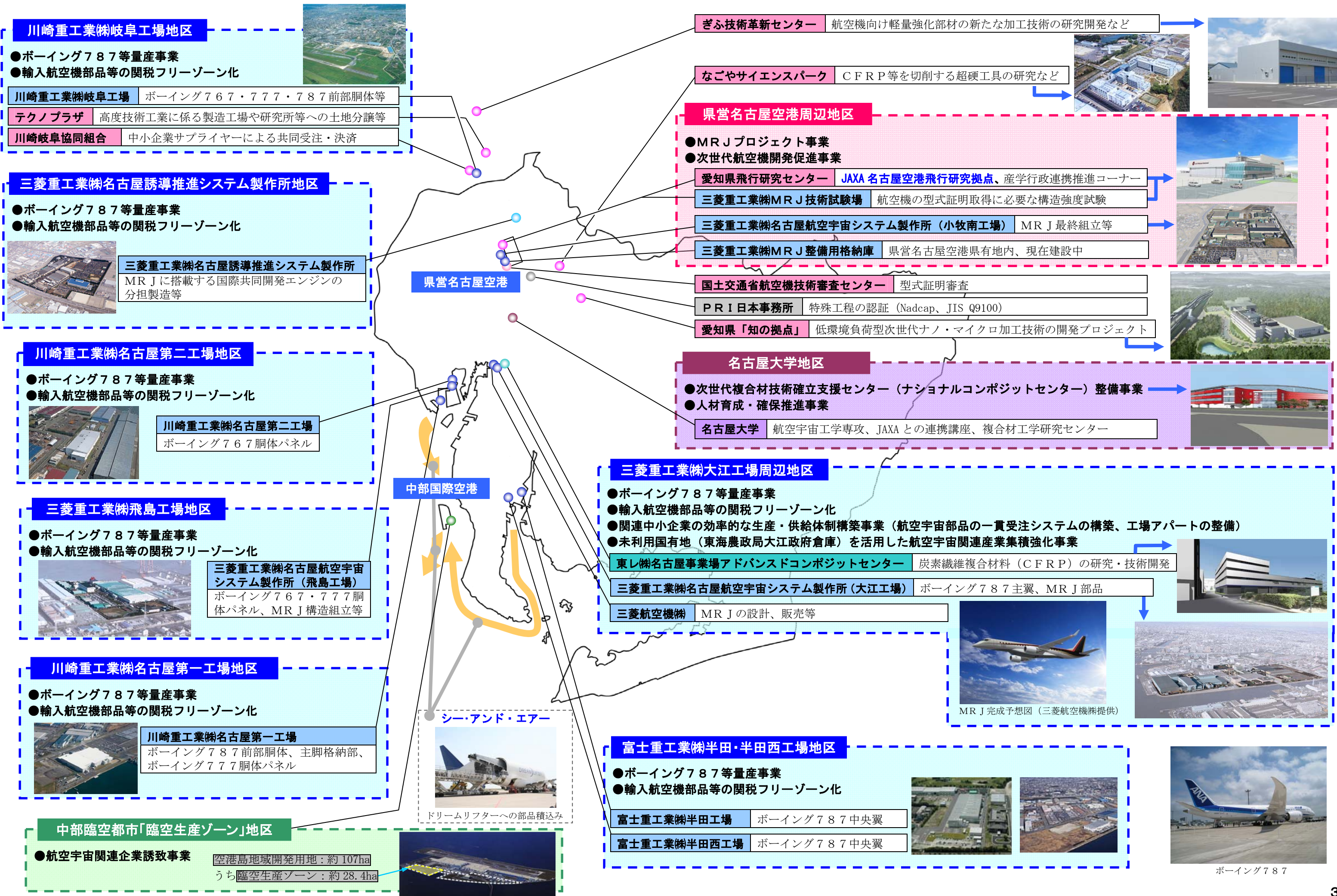
- 航空機産業をはじめとする高度先端産業の立地に対する補助金(愛知県、岐阜県、名古屋市、春日井市、常滑市、小牧市)
- 企業立地に対する補助金(小牧市、弥富市、各務原市)
- 産業立地促進税制(愛知県)
- パワーアップ資金「企業立地」貸付制度(愛知県)
- 産業活性化資金貸付制度(岐阜県)
- 地域産業集積形成法に基づく条例による緑地面積率の緩和(豊山町、飛島村) 等

目指すべき航空宇宙産業クラスターの将来イメージ



規制緩和 × ソフト支援 × ハード整備 = アジア最大・最強のクラスター形成へ!

「アジアNo.1 航空宇宙産業クラスター形成特区」全体俯瞰図（プロジェクトと地域資源）



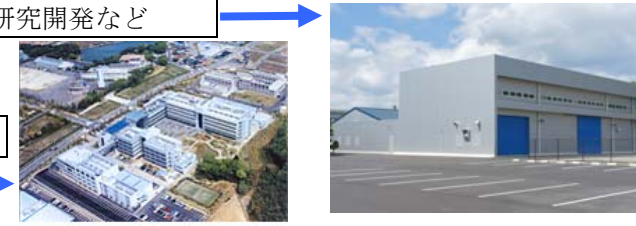
川崎重工業(株)岐阜工場地区

- ボーイング787等量産事業
 - 輸入航空機部品等の関税フリーゾーン化
- | | |
|--------------|---------------------------|
| 川崎重工業(株)岐阜工場 | ボーイング767・777・787前部胴体等 |
| テクノプラザ | 高度技術工業に係る製造工場や研究所等への土地分譲等 |
| 川崎岐阜協同組合 | 中小企業サプライヤーによる共同受注・決済 |



ぎふ技術革新センター 航空機向け軽量強化部材の新たな加工技術の研究開発など

なごやサイエンスパーク CFRP等を切削する超硬工具の研究など



三菱重工業(株)名古屋誘導推進システム製作所地区

- ボーイング787等量産事業
 - 輸入航空機部品等の関税フリーゾーン化
- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 三菱重工業(株)名古屋誘導推進システム製作所 | MRJに搭載する国際共同開発エンジンの分担製造等 |
|------------------------|--------------------------|



県営名古屋空港周辺地区

- MRJプロジェクト事業
 - 次世代航空機開発促進事業
- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| 愛知県飛行研究センター | JAXA名古屋空港飛行研究拠点、産学行政連携推進コーナー |
| 三菱重工業(株)MRJ技術試験場 | 航空機の型式証明取得に必要な構造強度試験 |
| 三菱重工業(株)名古屋航空宇宙システム製作所(小牧南工場) | MRJ最終組立等 |
| 三菱重工業(株)MRJ整備用格納庫 | 県営名古屋空港県有地内、現在建設中 |
| 国土交通省航空機技術審査センター | 型式証明審査 |
| PRI日本事務所 | 特殊工程の認証(Nadcap、JIS Q9100) |
| 愛知県「知の拠点」 | 低環境負荷型次世代ナノ・マイクロ加工技術の開発プロジェクト |



川崎重工業(株)名古屋第二工場地区

- ボーイング787等量産事業
 - 輸入航空機部品等の関税フリーゾーン化
- | | |
|-----------------|---------------|
| 川崎重工業(株)名古屋第二工場 | ボーイング767胴体パネル |
|-----------------|---------------|



名古屋大学地区

- 次世代複合材技術確立支援センター(ナショナルコンポジットセンター)整備事業
 - 人材育成・確保推進事業
- | | |
|-------|---------------------------------|
| 名古屋大学 | 航空宇宙工学専攻、JAXAとの連携講座、複合材工学研究センター |
|-------|---------------------------------|



三菱重工業(株)大江工場周辺地区

- ボーイング787等量産事業
 - 輸入航空機部品等の関税フリーゾーン化
 - 関連中小企業の効率的な生産・供給体制構築事業(航空宇宙部品の一貫受注システムの構築、工場アパートの整備)
 - 未利用国有地(東海農政局大江政府倉庫)を活用した航空宇宙関連産業集積強化事業
- | | |
|------------------------------|------------------------|
| 東レ(株)名古屋事業場アドバンスドコンポジットセンター | 炭素繊維複合材料(CFRP)の研究・技術開発 |
| 三菱重工業(株)名古屋航空宇宙システム製作所(大江工場) | ボーイング787主翼、MRJ部品 |
| 三菱航空機(株) | MRJの設計、販売等 |



川崎重工業(株)名古屋第一工場地区

- ボーイング787等量産事業
 - 輸入航空機部品等の関税フリーゾーン化
- | | |
|-----------------|----------------------------------|
| 川崎重工業(株)名古屋第一工場 | ボーイング787前部胴体、主脚格納部、ボーイング777胴体パネル |
|-----------------|----------------------------------|



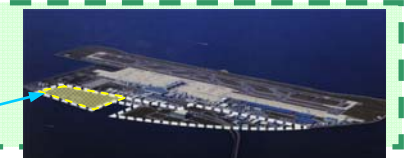
富士重工業(株)半田・半田西工場地区

- ボーイング787等量産事業
 - 輸入航空機部品等の関税フリーゾーン化
- | | |
|---------------|-------------|
| 富士重工業(株)半田工場 | ボーイング787中央翼 |
| 富士重工業(株)半田西工場 | ボーイング787中央翼 |



中部臨空都市「臨空生産ゾーン」地区

- 航空宇宙関連企業誘致事業
- | |
|--------------------|
| 空港島地域開発用地: 約107ha |
| うち臨空生産ゾーン: 約28.4ha |



ボーイング787